

【注意事項】

R20TS0545JJ0100

Rev.1.00

2020.02.01 号

CS+用 RL78 コード生成 (CS+ for CC),
 CS+用 RL78 コード生成 (CS+ for CA,CX),
 e² studio Code Generator プラグイン,
 RL78 コード生成支援ツール AP4

概要

タイトルに記載している製品の使用上の注意事項を連絡します。

1. CSI および UART のコールバック機能設定に関する注意事項
2. CSI および UART の端子機能割り当てが解除される操作の注意事項

1. CSI および UART のコールバック機能設定に関する注意事項

1.1 該当製品

製品	RL78/I1E	RL78/G11
CS+用 RL78 コード生成 (CS+ for CC)	V2.13.00 (CS+ for CC V5.00.00) 以降	V2.12.00 (CS+ for CC V4.01.00) 以降
CS+用 RL78 コード生成 (CS+ for CA,CX)	V2.13.00 (CS+ for CA,CX V4.00.00) 以降	V2.12.00 (CS+ for CA,CX V3.03.00) 以降
Code Generator プラグイン	V2.6.0 (e ² studio V5.3.0) 以降	V2.5.0 (e ² studio V5.2.0) 以降
AP4 for RL78	V1.12.00 以降	V1.11.00 以降

1.2 該当デバイス

RL78 ファミリ : RL78/I1E および RL78/G11(*1)グループ

(*1) : R5F1054A(16pin), R5F1056A(20pin), R5F1057A(24pin), R5F1058A(25pin)

1.3 内容

チャンネル設定で [送信機能] 選択時、CSI または UART で誤ったコールバック機能が有効となり、意図しないコールバック関数が生成される場合があります。

➤ RL78/I1E グループ

割り込み [INTP2] が選択されている状態で、シリアル・アレイ・ユニット [CSI01] または [UART1] で[送信機能] を選択した場合に発生します。

➤ RL78/G11 グループ

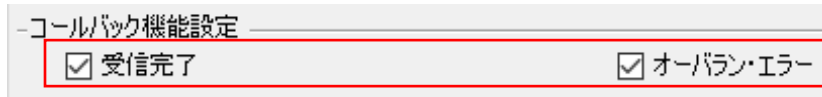
シリアル・アレイ・ユニット [CSI11] または [UART1] で、送受信機能を切り替えた場合に発生します。

5F1056A(20pin), R5F1057A(24pin), R5F1058A(25pin)は、[端子割り当て設定] が以下の設定の場合に発生します。

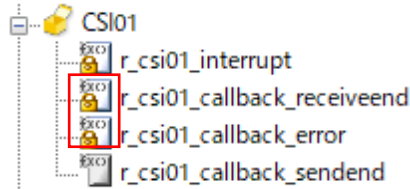
PIOR レジスタ	機能	ポート設定
PIOR21, PIOR20	RxD0	P31
PIOR21, PIOR20	TxD0	P30

発生例：RL78/I1E グループの場合

チャンネル設定で [送信機能] 選択時に [CSI01] タブを開いたとき、正しくは、“[送信完了] コールバック機能が有効”となっているべきところ、以下のように[受信完了]、および [オーバーランエラー] コールバック機能が有効となります。

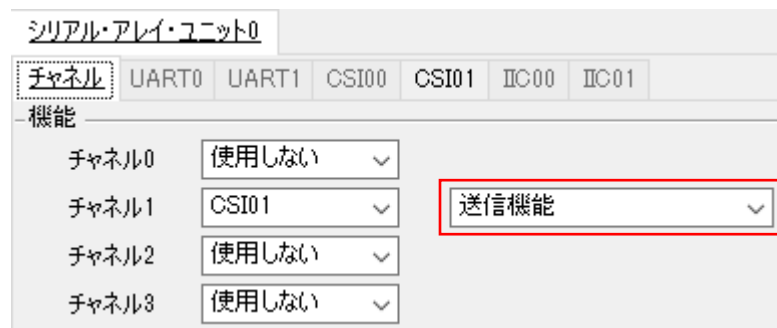


また、その状態で [CSI01] のコード・プレビューを開いた場合、以下のように誤ったコールバック関数がロックされています。



1.4 回避策

シリアル・アレイ・ユニットのチャンネル設定後、下記赤枠の機能を変更する必要が無い場合は、選択しないでください。変更する必要がある場合は、下記赤枠の機能変更後、チャンネル設定を「使用しない」に戻してから設定してください。



1.5 恒久対策

今後のバージョンで改修予定です。

2. CSI および UART の端子機能割り当てが解除される操作の注意事項

2.1 該当製品

- CS+用 RL78 コード生成 V2.13.00 (CS+ for CC V5.00.00) 以降
- CS+用 RL78 コード生成 V2.13.00 (CS+ for CA,CX V4.00.00) 以降
- Code Generator プラグイン V2.6.0 (e² studio V5.3.0) 以降
- AP4 for RL78 V1.12.00 以降

2.2 該当デバイス

RL78 ファミリ : RL78/I1E グループ

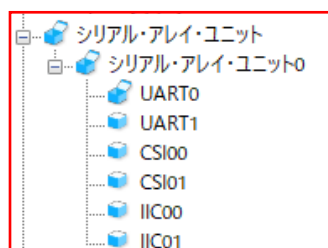
2.3 内容

CSI または UART を設定後、再度 [シリアル・アレイ・ユニット] 階層以下の画面を開くと、シリアル・アレイ・ユニットの端子機能割り当てが解除され、端子競合判定が正しく機能しなくなります。

例えば、UART0 を設定し [端子配置表] - [端子機能] タブの [シリアル・アレイ・ユニット] を開くと、以下のように端子機能が割り当てられます。

選択機能	端子割り当て	端子番号	入出力
RXD0	P14/SI00/RXD0/SDA00/TI02/TO02/INTP5/TOOLRXD	C2 (P14)	入力
RXD1	-	設定されていません	-

再度、周辺機能ツリーより [シリアル・アレイ・ユニット] 階層以下の画面を開くと、端子機能割り当てが解除されます。



選択機能	端子割り当て	端子番号	入出力
RXD0	-	設定されていません	-
RXD1	-	設定されていません	-

2.4 回避策

CSI または UART 設定後、[シリアル・アレイ・ユニット] 階層以下の画面を開かないでください。

なお、[シリアル・アレイ・ユニット] 階層以下の画面を開いて機能割り当てが解除された場合は、チャンネル設定を「使用しない」に戻してから設定し直してください。

2.5 恒久対策

今後のバージョンで改修予定です。

以上

改訂記録

Rev.	発行日	改訂内容	
		ページ	ポイント
1.00	Feb.01.20	-	新規発行

本資料に記載されている情報は、正確を期すため慎重に作成したのですが、誤りがないことを保証するものではありません。万一、本資料に記載されている情報の誤りに起因する損害がお客様に生じた場合においても、当社は、一切その責任を負いません。

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。

ニュース本文中の URL を予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。

本社所在地

〒135-0061 東京都江東区豊洲 3-2-24 (豊洲フォレシア)

www.renesas.com

お問合せ窓口

弊社の製品や技術、ドキュメントの最新情報、最寄の営業お問合せ窓口に関する情報などは、弊社ウェブサイトをご覧ください。

www.renesas.com/contact/

商標について

ルネサスおよびルネサスロゴはルネサス エレクトロニクス株式会社の商標です。すべての商標および登録商標は、それぞれの所有者に帰属します。